

学校関係者評価委員会報告書

令和5年11月29日

札幌歯科学院専門学校

札幌歯科学院専門学校学校関係者評価委員会を開催し、学校関係者評価委員よりいただいた評価結果について、下記のとおり報告させていただきます。
各委員よりいただいた評価結果を踏まえ、本学院の教育活動、社会・地域貢献等の学校運営全般について、更なる推進と改善を図って参ります。

一般社団法人札幌歯科医師会立札幌歯科学院専門学校学校関係者評価委員会

開催日時 令和5年11月29日(水) 18:55~20:02
開催場所 札幌歯科医師会館 2階 理事会室
出席者 学校関係者評価委員
房川 慈裕 委員長(一般社団法人北海道歯科医師会理事)
諸留 裕 委員(一般社団法人札幌歯科医師会口腔医療センター所長)
松岡 円 委員(一般社団法人北海道歯科衛生士会札幌支部支部長)
八重樫新一 委員(公益社団法人北海道歯科技工士会相談役)
天道 紀子 委員(札幌歯科学院専門学校同窓会会長)

札幌歯科学院専門学校

山田 尚 運営委員長
尾崎 勝巳 学院長
菅原 史彦 副学院長
濱 秀樹 総務部長
市川 智恵 歯科衛生士科教務主任代行
村上 珠緒 歯科技工士科教務主任
平田 学 事務長
木本 勝彦 次長
長土居香織 係長

大項目	評価項目		評価 (とても良い4 良い3 やや悪い2 悪い1)	自己点検評価内容	関係者評価
教育理念・目的	1	学校の理念,目的,育成人材像,本校の特色を生かした将来構想が定められ,生徒・関係業界等へ周知されているか	3. 5	教育理念・教育目標・教育方針に基づき, 歯科医師会立校であることや歯科衛生士科・歯科技工士科を併設している等の本学院の特徴を生かした両科による合同授業,歯科医療界の需要に即した各授業内容の工夫により,歯科医療従事者の一員として地域歯科医療に貢献できる即戦力を目指す教育を実施している。 上記について高等学校等、学生・生徒関係業界はもとより、札幌歯科医師会会員約 1,300 名に対しても学校案内等配布する他、HP 等にも掲載し、周知に努めている	教育理念、目的に沿った運営や歯科医師会立校として、歯科衛生士科、歯科技工士科を併設している特色を生かした教育を引き続き行っていただきたい。
	2	各学科の教育目標,人材育成像は、学科に対応する業界の需要に向けて方向づけられているか	3. 6	歯科医師会立校として、現役歯科医師により指導している他,即戦力となる人材を育成するためのカリキュラムを組んでいる。 日進月歩な歯科医療の需要に対応するため、各関係団体との連携情報収集などにより,時代に合った人材育成のための情報収集を行っている。	歯科衛生士科、歯科技工士科を併設している本校の特徴を生かした合同事業等では、チーム医療を学びながら行動力、技術力、総合的判断力や社会性を育てる教育を実施している。また、歯科医師会立として、各関係団体との連携は図られているものの、時代にあった人材育成のための情報交換等は積極的に行っていく必要がある。
学校運営	3	目的に沿った運営方針,事業計画,体制等が策定されているか	3. 5	本学院の運営方針、事業計画等については,運営委員会、教職員会等の各委員会にて審議、策定されており,その後、法人の総会において承認されている。	
	4	情報システム化等による業務の効率化や情報公開が適切になされているか	3. 2	一部文書の保管をデータ化することにより,迅速に共有・閲覧する等の整備を整えている.更なる効率化を図るための改善が必要であると考えている.年度末に情報項目を追加する等ホームページの更新を図り,学校情報や教育活動等について情報公開に努めている。	
教育活動	5	教育理念に沿った教育課程の編成,実施方針が策定されているか。	3. 7	教育理念に基づいたカリキュラムを編成しているが, 両科とも急速に技術発展を遂げる歯科医療現場において就職後即戦力となり得る人材を養成するため、講座運営（シラバス、教材、運営体制等）の見直しを必要の都度行っている。 医療人として社会貢献する人材育成のため,一般常識まで培うことが出来る教育方法を実施している.また,即戦力となる人材を育成するため,臨床実習施設へ協力・連携を図り,臨床実習を重視している.加えて,外部評価等による対外的な意見を反映することも必要だと考えている。	教育理念に基づいたカリキュラムを編成していますが、都度、定期的に検討、見直しを行う必要がある。特に医療人としての人材育成の観点から、両科とも時代に合わせたカリキュラム編成が必要であり、学校関係者評価委員会による評価結果、意見を反映させた策定も必要と考えている。 【参考】*カリキュラムについては、国家試験合格率の向上、多様化（口腔機能向上、多職種連携、CAD/CAM 等情報処理等）する歯科衛生士、歯科技工士業務への対応などを目的に両科共に令和5年度（来年度評価）より変更することで、令和5年度北海道へ申請、承認を得ている。
	6	職員の能力開発のための研修などが行われているか。	3. 5	外部研修の参加費用については学校で負担し,年に数回、全国歯科衛生士教育協議会・全国歯科技工士教育協議会が主催する研修会をはじめとする各種研修会へ出向させ,教員の資質向上に努めている.また,FD・SD 協議会へ加盟し,各種研修会へ参加できる体制を整えている。 年2回常勤職員に自らの目標を設定させ、当該目標の設定水準・目標達成度等を基礎として総合的に評価を行っている。	職員の能力開発のための研修会については、内部での研修会が難しいことから外部研修を主体とした研修体制にて能力向上に努めている。
教育環境	7	施設,設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3. 4	本学院会館増改築から38年経ち,設備面の劣化等が見込まれるため,会議等にて検討しており,適宜整備し,必要とされる環境整備に取り組み,教育環境を整えている。	教育環境の整備を図るべく、定期的に会議において検討している。また、オンライン授業が実施できる環境整備を図り、オンライン授業と対面授業を併用しての授業を実施している。 Wi-Fiの提供について検討いただきたいと意見があった。

学生募集	8	高等学校等の機関へ対する情報提供の取組が行われているか	3. 5	副学院長・教職員が連携して広報活動を行っており、資料請求や学校訪問等下記のとおり随時説明を行っている。今後も高校訪問等を通して信頼関係を深めている。 (1)オープンキャンパス 15回実施/年間 オンライン：3回 対面：15回開催 参加者 222名 昨年度のオンラインでの参加者が少なかったことから、対面と同日開催で実施した。 (2)進学相談会 53回参加 進学相談会の参加者は例年減少しているが、学生と直接話すことが出来る貴重な機会である。 開催は例年の実施状況に戻りつつある。校内ガイダンス等、学生がより多く出席する相談会をメインとして参加し、多くの生徒へ面談したいと考えている。 (3)職業体験学習(中学校) 参加校：3校 参加者：19名 (4)高等学校訪問 245回実施(うち学生同行なし) オープンキャンパスや外部広報誌等に掲載し、正確に周知している。今後はSNSやオンライン対応も含め、最情報をよりわかりやすく正確に伝える工夫が必要である。	オープンキャンパスの参加人数の減少など、コロナによる理由だけとは言い難い状況である。 定員充足には至っておらず、対応として過去の経緯を検証し、学校の魅力が何なのか、高校訪問・オープンキャンパス・進学相談会の内容の充実化に加え、伝統の力や学校の特色を広く伝えていただきたい。 国家試験合格率についても学生募集活動へ関わってくる問題であるため、本学院に入学すれば国家試験に受かると言えるようになることを期待したい。 また、SNS等を活用した情報発信、学生募集活動も積極的に行い、最新の情報を正確に伝えるよう努めており、継続して行っていただきたい。
	9	資格取得、就職状況等の教育成果は正確に伝えられているか	3. 7	今年度は定員に対し、入学者が6割未満となり、財政基盤が安定的でない状況となった。 適宜、設備の修繕費用も経常されていることによる影響も含まれる。そのため、学生募集活動の充実化・退学希望者の減少・国家試験合格率の向上・支出等の見直しを行い、財政基盤の安定化に努める必要がある。	
財務	10	中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2. 3	予算・収支計画については、審議項目が運営規程に明記されており、教職員会・運営委員会・理事会を通し、予算・収支計画が策定される。法人の総会においても承認されている。	経年的に続いた定員減により赤字幅が増え、財務は継続的に赤字の状況。施設の老朽化における建物の改修や引き続きの設備整備の必要性、併せて、少子化、コロナ等、困難な状況に変わりはない。財務基盤安定化のためにも学生募集活動の充実、退学者を出さない、国家試験合格率の向上、支出等の見直しなどを継続的に行っていただきたい。
	11	予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2. 9	会立校として学費は抑えた金額を設定しているが、昨今の材料費の高等などの状況により、令和6年度より実習費について増額することとしている。 昨年度中の会議では入試制度の見直しも行い、特待生制度(入学金免除)を廃止、指定校推薦で受験すると入学金を半額免除、公募推薦で受験すると5万円免除とし、多くの学生が学費支援を受けられるよう変更している 学生募集と財務は学生の入学者数が減少すれば収入が減少するため繋がりが密接である。過去の経緯を検証し、どの費用を上げるべきなのか、何を優先的に勘案するのか今後も検討していただきたい。	
法令等の遵守	12	法令、専修学校基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3. 5	歯科衛生士・歯科技工士学校養成所指定規則に従い、届出等について、必要事項を掌握しており、今年度一部提出書類について煩雑な作業となり提出が遅れたものがあったが、適切に対応し、法令順守に努めている。	
	13	個人情報について保護対策が取られているか	3. 7	「札幌歯科学院専門学校における個人情報の取扱いについて」学院長が定めた規則に従い、本学院が保有する個人情報について管理者・管理方法・管理場所が明確となっており、学生等についても「個人情報に関する同意書・誓約書」を提出してもらっている。 実習施設との間で診療内容や個人情報の保護に関する誓約書を交わしており、学生にも十分注意をしている。昨年度において違反する学生は無かった。	

社会・地域貢献	14	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献をおこなっているか	3. 5	北海道私立専修学校各種学校連合会主催札幌市市教委タイアップ事業「進路探求学習オリエンテーリング」を実施し、中学生に向けた歯科衛生士と歯科技工士の職業体験授業を行い、職業の認知・向上に努めている。 (参加校 3校 計3名)	コロナの影響により、ほぼ、社会貢献活動が実施できていない状況となっている。 コロナの影響が今後緩和された際には、従前どおり実施をしていただきたい。
	15	生徒、学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2. 9	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している高齢者施設・障害者施設等における臨床実習を通じた市民の口腔衛生維持向上への貢献、及び6月に開催する「歯と口の健康週間事業」での口腔衛生に対する意識向上を図るイベント等へ参画出来なかった。	

※「専修学校における学校評価ガイドライン」(文部科学省)を基に作成